

第3回 日本GRACE研究会年次大会

コロナ時代をコンパッションで ～自分も他者も支えるGRACE

2020年 12月12日 土
～13日 日



ジョアン・ハリファックス
老師を迎えて

Joan Halifax

仏教指導者・禅僧、人類学者。米ニューメキシコ州サンタフェにあるウパーヤ禅センター創設者・主管。医学人類学で博士号を取得。アメリカ国立科学財団で映像人類学の特別研究員、ハーバード大学で医療民族植物学の名誉研究員、米国会議図書館の特別客員研究員も務めてきた。刑務所でのボランティア活動、ネパールにおける移動診療の活動を始めた人物でもある。



ONLINE LIVE

Zoomによる2日間の
オンラインセッション



第3回GRACE研究会年次大会長

中野 民夫

東京工業大学 リーダーシップ教育院
リベラルアーツ研究教育院教授



日本GRACE研究会世話人代表

高宮 有介

昭和大学医学部
医学教育学講座教授

第3回大会は、当初は東京工業大学でハリファックス老師にも来ていただいて、という構想でしたが、今年のコロナによる激変で、オンライン開催です。皆さんそれぞれ新しい事態に奮闘しておられると思いますが、こういう時だからこそ、自分を大切にしながら他者や社会にも思いやりを持って関わり続けられる「コンパッション」の力を養いたしたいと思います。今回は、GRACEについて創始者のハリファックス老師が、初めての方にもわかりやすくビデオやライブで説明してくれます。日本での実践者にもたくさん登場していただきます。オンラインでどこからでも参加できるチャンスに、医療関係者はもちろん、人の学びや成長をサポートしているすべての方々に、幅広く参加していただけたらと思います。

GRACEは、死の臨床に45年間かかわってきた米国の医療人類学者で僧侶のジョアン・ハリファックス老師が、ケアする自分自身のあり方や死生観について体験的に探究する「Being With Dying-死にゆく人と共にあること」を最新の脳科学や認知科学の成果に基づいて整理し、コンパッションに根差したケアのあり方を育むためのトレーニングです。日本では2015年に創始者の3名を招いて研修会を開催しました。その後、毎年研修会を開催し、2018年に、日本GRACE研究会を創設しました。死の臨床だけでなく、介護も含めた様々なケアの中で、そしてコロナ禍の今、私達が生きていく柱となるプログラムです。

開催概要

日時 2020.12月12(土)-13(日)
会場 オンライン[Zoom]
対象 医療関係者・心理職者
保健師・介護士・教員
対人援助職など
定員 300名
参加費 2日間通し：5,000円
1日のみ：3,000円
主催 日本GRACE研究会

SCHEDULE

Day-1 12月12日 13:30-16:30

- GRACEとは？
ハリファックス老師のビデオによるGRACEの紹介（プチ体験や実践者による解説）
- 参加者同士の分かち合いの時間

Day-2 12月13日 9:00-12:30

- 「コロナ時代をコンパッションで」
－ハリファックス老師によるライブメッセージ
- 参加者同士の対話と質疑応答
- シンポジウム：日本でのGRACEの展開
－各地の実践者から事例報告

GRACEとは

- G**athering attention
注意を集中させる
- R**ecalling intention
動機と意図を思い起こす
- A**ttunement to self/other
自己と他者の思考・感情・感覚に気づきを向ける
- C**onsidering what will serve
何が役に立つかを熟慮する
- E**ngaging and Ending
行動を起こし、終結させる



参加申込 QR コード

お問合せ・お申込

gracejapan2020.peatix.com